



健康・医療の地域課題解決に デジタル技術を活用 デジタル田園健康特区の指定

4月12日、国家戦略特区の「デジタル田園健康特区」に茅野市が正式に指定されたことを受けて、今井市長は野田聖子内閣府特命担当大臣らと面会しました。

野田大臣は「デジタルの力を使って、地域の課題解決に向けて取り組んでほしい。」と話し、今井市長は「茅野市がこれまで取り組んできたパートナーシップのまちづくりのうち、福祉分野の仕組みをデジタルの力を使って維持したい。2市町（同じく指定された石川県加賀市、岡山県吉備中央町）と連携しながら、全国のモデルとなれるよう、しっかり取り組んでいく。」と意気込みを語りました。

茅野市はこれから「デジタル田園健康特区」として、デジタル技術を活用した健康・医療分野での課題解決に積極的に取り組んでいきます。



ラリーカーがハケ岳の麓を駆け抜ける TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge in ハケ岳茅野

4月16日、17日、「TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge in ハケ岳茅野」が開催されました。

ラリーチャレンジはトヨタ自動車㈱が展開するモータースポーツ活動の一つで全国各地を転戦して行われています。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響で、茅野市運動公園でのイベントは中止となり、メイン会場を茅野市運動公園から北ハケ岳ロープウェイに変更して、ラリー競技のみが実施されました。

選手たちは表彰台を目指しながらも楽しく競技に参加していました。

沿道にはラリーカーを一目見ようと集まった人達が、フラッグを降ったり、写真を撮ったりして応援していました。



諏訪大社御柱祭 上社山出し

4月2日、諏訪大社御柱祭の上社山出しが開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人力での曳行が中止となり、史上初めて、御柱をトレーラーに載せて運搬されました。クレーンによってトレーラーに載せられた御柱は綱置場を出発し、ハケ岳エコーラインやビーナスライン、上川橋、宮川橋を通過して御柱屋敷へ運ばれました。

沿道には氏子が集まり、おんべを振ったりしながら御柱を見送りました。また、木遣りやラッパなども披露され、御柱祭の始まりを盛り上げました。

山出し最大の見せ場である木落としと川越しは中止となりましたが、宮川橋上では宮川からくみ上げた水を放水して御柱を清めました。

運ばれた御柱は5月3日から始まる里曳きまで、御柱屋敷に安置されます。



交通安全・交通事故防止のために 交通安全啓発冊子贈呈式

4月15日、長野トヨタ自動車株式会社及びNTPトヨタ信州株式会社から交通安全・交通事故防止を目的とした、交通安全啓発冊子が贈呈されました。

贈呈された冊子には幼児向け交通安全絵本「ぼくのたんじょうび」や小学生向け啓発冊子「うんこ交通安全ドリル」などがあり、子どもでも分かりやすく、楽しく交通安全を学ぶことができるものとなっています。

今後、市内の保育園や幼稚園、小学校に配布され、子どもたちへの交通安全教育に役立てられます。



緑のあふれる公共施設を目指して 公共施設緑化木の配布

4月8日、茅野市運動公園で公共施設緑化木の配布が行われました。

この事業は緑の募金を活用して行われ、ドウダンツツジやアジサイ、モミジ、花桃など計30種が茅野市の区・自治会、学校、市関連施設に配布されました。

配布後は公共施設等に植樹されます。花を咲かせたり、葉に色をつけて訪れた人を楽しませることが期待されます。

また、新入学児童へ配布する記念樹（ブルーベリー・梅）にも緑の募金が活用されています。